

★事例報告★

「患者図書室」の現在とこれから

小野 佳代子

I. はじめに

伊達赤十字病院の紹介を簡単にさせていただきます。所在地北海道伊達市、人口は2010年8月現在36,866人です。

病床数：一般257床、精神60床の合計317床です。診療科は17科、医師数は非常勤医師、研修医を含め35名となっております(図1)。



図1 伊達赤十字病院

II. 3階病院図書室の現況(図2)

面積：97.17㎡
座席数：テーブル1、椅子4
パソコン：2台(司書用含む)
担当者：医局秘書兼司書
蔵書：和書 5,069冊
洋書 163冊

受入雑誌：和雑誌 107誌
洋雑誌 40誌
データベース：医学中央雑誌 Web
MEDLINE with Full Text
DynaMed
The Cochrane Library



図2 図書室

III. 患者図書室(1階医事課前)：開設時

2007年2月病院機能評価受診を機に喫煙所を改装してオープンしました。開設時の利用サービスとしては50冊を新規購入し医療図書閲覧サービスと、無料パンフレットの配置、医療ソフトの入っているパソコン利用サービスです(ネット利用不可)。

IV. 患者図書室：現在

2008年4月に前任者と交代し運営を続けていましたが、利用者からの貸出希望と併設している看護学校と当院医師よりの図書寄贈を機会に2009年9月にリニューアルオープン

ONO Kayoko

伊達赤十字病院図書室
date-tosho@date-rch.jp

んいたしました (図3)。

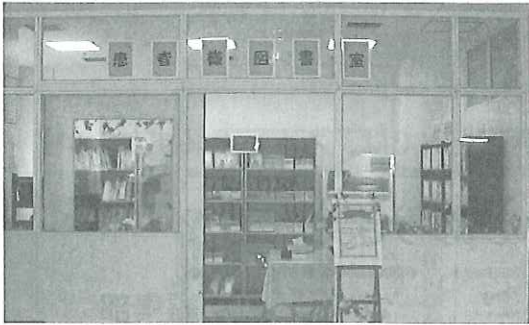


図3 患者図書室

1. 患者図書室現況

- 1) 利用時間：平日 9:30～15:30
- 2) 休館日：土・日・祝 年末年始
病院の休日 (図4)
- 3) 蔵書：閲覧用図書 約50冊
貸出用図書 約250冊 (入院患者のみ)
無料パンフレット (図5)
- 4) パソコン1台 (ネット使用不可)



図4 患者図書室内：

利用方法をパンフレットにして
持ち帰られるように配置している。

無料パンフレット棚 (図5) は診療科別に分類し、色分けしています。主に消化器内科・整形外科・循環器内科・神経内科・花粉

症アレルギーシリーズなどで、一般的な病気で患者様が興味を持ったり、知識や情報を得られるものを選んでいきます。



図5 無料パンフレット棚と書架

図書貸出しでは医療・闘病記・看護・こころ・終末期の5つに分類しナンバリング、図書リスト帳を作成管理し、申込み書に記入後、返却と兼用になっているBOXに投函して頂いています。

2. 問題点

- 1) 無人のため利用人数を把握できない
- 2) 貸出しを入院患者に限定している
- 3) 寄贈本のため偏りがある
- 4) PCに医療ソフトを入れているがあまり利用されていない

V. 患者図書室：これから

利用拡大をいかに進めるか？

1. PCのネット接続を検討
2. 医療ソフトの買い替え
3. 貸出図書を院内から院外へ
アンケートの実施 (6月より開始)
医療図書の新規購入
伊達市広報を利用しての広報掲載

VI. おわりに

現状として予算や面積、人件費等の問題を抱えていますが、地域住民への医療情報を提供する役割は大きいと考えます。患者図書室が役割の一端を担っていただけることを今後の目標とし、活動していきたいと思ひます。